

防災減災

震災対策はマンパワー不足

課題がある中 事業は継続



あさの しゅうち 議員
浅野 修一

問 家屋の耐震改修と、ブロック塀対策への進捗状況は。

問 能登半島地震の光景を見て、どのように思ったのか。

答 村越情報防災課長

能登で起こったことは、そっくりそのまま同じことが起こるとは思わないが、南海トラフ地震が想定されている当町にとって、起こり得る姿ではないかと考えている。家屋の倒壊対策については、引き続き取り組みなければと認識している。

答 松本町長
他の自治体と比較しても、決して遅れをとらないスピードで取り組みを進めていると認識している。予算や全体的な行政の課題の中で、町内の大工さんの数が足りず対応できないなど、様々な課題がある中だが、事業は継続していきたい。

問 避難道と避難路を一斉点検し、対策を。

答 村越情報防災課長

昨年度、区長、地区役員、代表者の方等にお世話になり、地域担当職員と一斉点検、調査をし、修繕が必要な避難道が13路線で本年度より順次修繕していく。

問 一時避難場所のうち、必要と思われる場所にビニールハウスのものを建てられないか。

答 村越情報防災課長

一時避難場所については、体育館などの避難所を除き、188カ所あり、そのほとんどは風雨を防ぐ施設がないが、一斉の対策は財政的に困難。地区ごとに検討し、計画的に対策を進めていく必要があると考える。

問 避難道、避難路にある街路灯等の点検は行なっているか。

答 村越情報防災課長

整備した避難道については、必要な箇所にソーラー発電等を装備した避難誘導灯を設置している。耐用年数等の関係で、5年ほどで故障したりしており、夜間避難訓練等の際に住民の方から情報提供をいただき、予算の範囲内で修繕等を順次行なっている。

観光戦略

県施策に同調し
町独自策を

現在検討中
補正予算対応を

問 県は「どつぷり高知旅」として、長期的視点に沿った観光戦略を設定。郡部に位置する本町でも、県の施策に同調し、町独自の施策を模索するべきではないか。

答 秋森産業推進室長

令和6年度以降、周遊促進滞在延長支援事業費補助金の活用についても検討を行っている。現時点ではまだ検討中であり、具体的な内容を示すことはできないが、取り組む内容や予算等の詳細が決まれば、令和6年度中の補正予算等で対応を図っていきたいと考えている。



昼間の同所避難道



街路灯が無い浮津地区の避難道の早朝（令和6年3月26日）